

## ●アドバイザー会議の目的

「下土棚遊水地上部利用計画(案)」の策定を行うにあたり、「地域懇談会」で検討された計画案について、技術的・専門的アドバイスを行うことを目的としています。

## 計画全体に対するアドバイス

○水害を防ぐために整備される施設であるにも関わらず、守られている意識が芽生えるような計画ではないように感じる。川のことを教える機能が良かった方がよい。

## B池（親水空間）に対するアドバイス

○ビオトープは、人工的なものより自然なもの（葦等の植物の植生があるもの）が良いという場合もある。

○維持管理をする際にハイコストにならないようにして欲しい。特にビオトープについては、冠水しても維持できるようなものを考えると、具体的な議論を行ってほしい。

⇒平成25年度において、B池の利用について具体的な検討を行う『親水空間ワーキンググループ』を設置することとしました。

## その他の意見

Q：整備水準のイメージは、境川遊水地と同様か？

A：大庭遊水地に近い整備水準と考えています。

Q：子供が自主的に遊びを創出できるような、何も無い空間が欲しい。

A：子供に遊び場の提供は考えているが、何も無い空間という視点ではこれまで考えていないと思われます。

Q：維持管理者を早く決め、維持管理の内容について議論をするべきではないか。

A：維持管理については、平成25年度以降の大きな検討テーマとして議論していきます。

Q：利用料金を徴収するか否かにより、維持管理内容も変わってくるが、上部利用を有料にできるか。

A：有料にすることは、可能です。